

新緑ニュース

〒226-0025 横浜市緑区十日市場1726-7
TEL. 045-984-2400 (代表) FAX. 045-983-4271



認定看護師の活動

皮膚・排泄ケア 認定看護師 主任 森橋 千晶

認定看護師（以下CN）とは、日本看護協会によって認定される看護資格で、5年間の経験を積み、教育機関での研修を受講し、認定審査に合格すると名乗ることができます。

看護協会のホームページにはCNの活動目的として「特定の看護分野における熟練した看護技術及び知識を用いて～（中略）～看護ケアの広がりや質の向上を図ること」と記載されていますが、自己紹介をする時は「皮膚と排泄ケアについて少し詳しい看護師です。少し詳しいので、スタッフの相談にのることや指導することもあります」と説明をしています。

皮膚・排泄ケア認定看護師は、介入対象が多岐にわたります。皮膚の分野では、とりわけ褥瘡ケアに注視しており、褥瘡対策委員会の一員として、院内ラウンド、創傷被覆材の選定や、マットレスの管理、褥瘡ケアの指導や研修を行っています。また、スキントピアと言って、衣服が擦れるだけで皮膚が裂けてしまうような患者さんの予防のケア、発生時の対応の

周知、再発防止のケアについてスタッフと検討などを行っています。排泄ケアでは排尿自立委員会の一員として、膀胱留置カテーテルの抜去後に排尿障害がないか、発熱と排尿障害との関係はないか、経過をたどり、必要に応じてケアを提案しています。またストーマについて、さまざまな理由で排泄物をお腹から出す必要がある患者さんのケアをすることも主な活動です。ストーマに関してはストーマ外来も担当しています。入院中は問題なく管理できていても、退院後にケア困難となるケースが多いからです。また、ストーマオリエンテーションについて、ストーマになる前に介入が必要となることもあります。外来で大きなワゴンを慌たたく動かししている看護師がいたら、十中八九、ストーマ外来中の私です。



しばしば「なぜ皮膚と排泄ケアがまとめられているのか」という質問をいただくことがあります。教育機関で受けた講義によると、はじめはストーマ（排泄ケア）であったそうです。排泄障害で皮膚がただれる、それを何とかしたいと皮膚のことを勉強し、それを褥瘡ケアに活用する。その成果が診療報酬の算定要件に反映される、というように活動を広げたというお話でした。そのような先輩たちの篤い活動に少しでも追いつけるよう、日々自己研鑽しています。



資格取得

ピンクリボンアドバイザー取得しました。 放射線技師 島田 夏子

ピンクリボンアドバイザーは、医療従事者だけでなく、乳がんを経験された方やそのご家族、企業や自治体で働く方などさまざまな方が取得しています。身近な人の乳がんをきっかけに正しい知識を身につけたいと思ったこと、仕事の中で患者さんの不安にもっと寄り添いたいと思ったことがきっかけで取得を目指しました。

学んだ知識を活かし、検査の場が少しでも不安の安らぐ時間になるように努めていきます。

部署紹介

「その人らしい生活」を支える作業療法で、次の一歩を支援する

作業療法科 係長 酒井 広樹

私たち作業療法士は「その人らしい生活を取り戻す」ことを目標に、患者さん一人ひとりに寄り添うリハビリテーションを提供しております。病気やケガで困難になった「生活に関わるすべての活動」一起きる、着替えるといった基本的な動作から、家事や仕事、趣味に至るまで一を再び取り戻す専門家です。入院中のリハビリでは、退院後の生活を具体的に見据えた支援をします。例えば、麻痺が残る手に対しては“思い通りの動き”を再学習する練習や、電気刺激装置（IVES）の活用、その方に合わせた装具の作成などを通じて機能回復を目指します。



また、当科には急性期から訪問リハビリテーションまで、幅広い経験を持つ18名の作業療法士が在籍しております。若手から経験10年以上のベテランまで、多様なスタッフがそれぞれの専門性を活かし、チームとして患者さんを支援する体制を整えています。病棟の他職種と密に連携し、トイレやお風呂での安全な動作や生活習慣を共に考え、退院後の生活へ橋渡しをします。

お一人おひとりの「こうなりたい」という想いに、誠実にお応えします。

表彰

永年勤続表彰 ～感謝と誇りを胸に～

事務長 村松 賢太郎

この度、当院では長年働いてきた職員たちの「永年勤続表彰」を執り行いました。今年は20年勤続が8名、10年勤続が13名と、多くの仲間が表彰を受けました。

10年、20年という長い月日を、横浜新緑総合病院の一員として患者さんと共に歩んでくれた職員たちは、私たちの誇りです。これまでの温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

医療の世界は日々進化していますが、いつの時代も大切なのは、患者さんとの信頼関係です。経験豊かなベテラン職員を中心に、これからも地域の皆様に「ここに来て良かった」と安心していただける病院づくりに努めてまいります。



入職

特定技能を有した外国人看護補助者2名が入職

今年1月より特定技能を有した外国人看護補助者2名が入職しました。私たちは、共に働く仲間として協働していきます。常に笑顔で一生懸命な2名です。よろしくお願いします。

スさん：7階病棟

(ス ション レ イー)

- 出身国 ミャンマー
- 趣味 料理、読書
- 好きな食べ物 とんかつ 親子丼
- みんなへのメッセージ

はじめは人と話すことが恥ずかしかったが、だんだん話せるようになって楽しくなってきました。皆さんからいろいろな仕事ややり方を学んで頑張りますのでよろしくお願いします



ファラさん：3階病棟

(ファラ アユ フィルナンダ)

- 出身国 インドネシア
- 趣味 音楽を聴くこと、読書
- 好きな食べ物 牛丼 ミートボール
- みんなへのメッセージ

日本を旅行、食べ物、文化など新しい体験ができています。今から一生懸命頑張りますので、皆さんよろしくお願いします



WEB版みんなの健康講座 ※オンライン配信

病気や健康に関する情報を発信しています。Web版みんなの健康講座はホームページ、スマートフォン(QRコード)からいつでもご視聴いただけます。



発行
地域医療
連携室